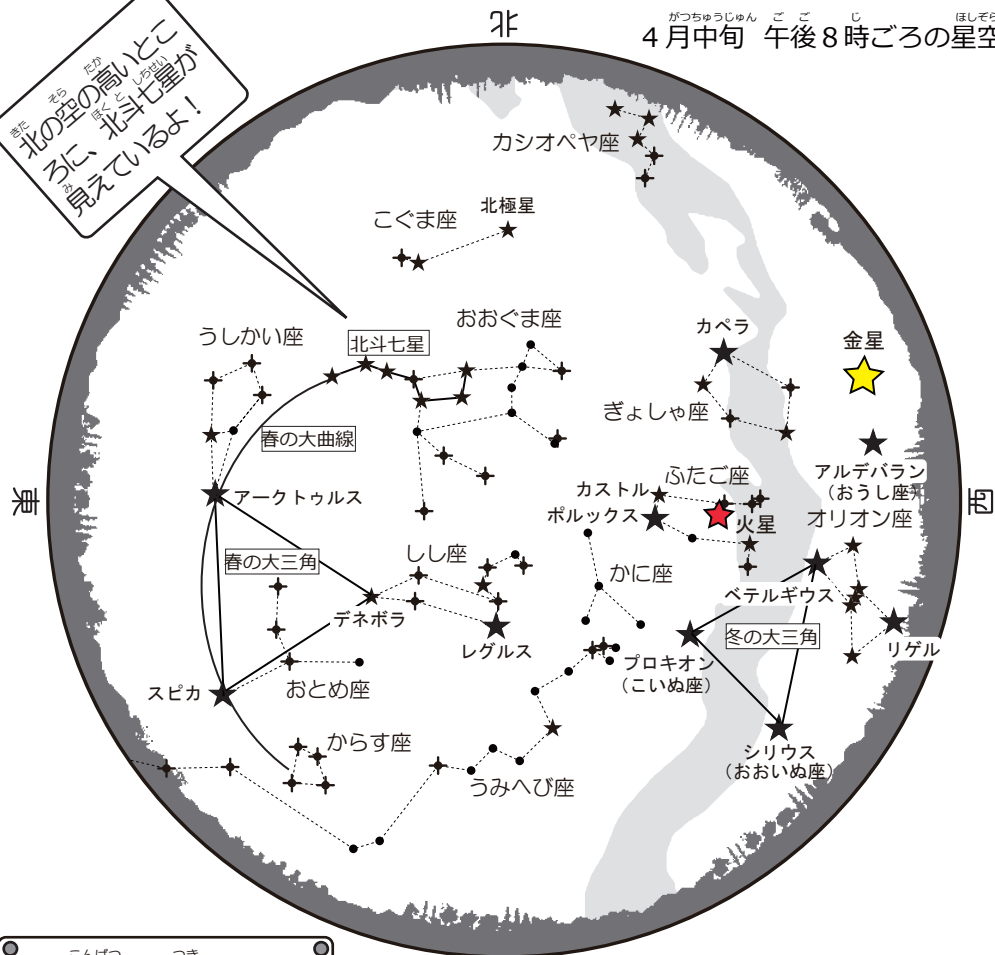


★ 星空だより

2023年4月
No.149
富山市科学博物館



北の空の高いところに、北斗七星が見えていますよ！



4月中旬 午後8時ごろの星空

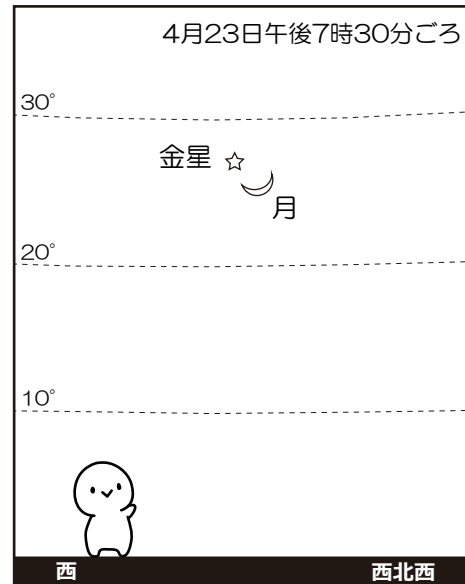
～今月のお月さま～

4月 6日	満月	○
4月 13日	下弦	◐
4月 20日	新月	●
4月 28日	上弦	◑

見たい方角を向いて、その方角の字が円の手前側にくるように紙の向きを変えて見てね。

★ 注目 金星と月がきれい！

夕方ゆうがたの西にしの空そらに、とても明るい金星あかが輝かがやいています。今月23日には細い月ほそつきと並ぶ、とてもきれいな様子が見られます。これから7月がつまでは、毎月下旬に金星と細い月ほそつきが並んで見られるので、西の空にしそらに注目ちゅうもくしてみてくださいね！



★ 黄道十二星座紹介 ☆しし座☆



しし座は、ギリシャ神話ではネメアの森に住む大きなライオンです。ギリシャ神話一の力持ちヘラクレスと三日三晩にわたって戦いました。最後は力尽きてしまいますが、その勇気をたたえて、女神ヘラによって天にあげられて星座になりました。

※黄道十二星座って？
太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のことです。誕生日の12星座としてよく知られています。

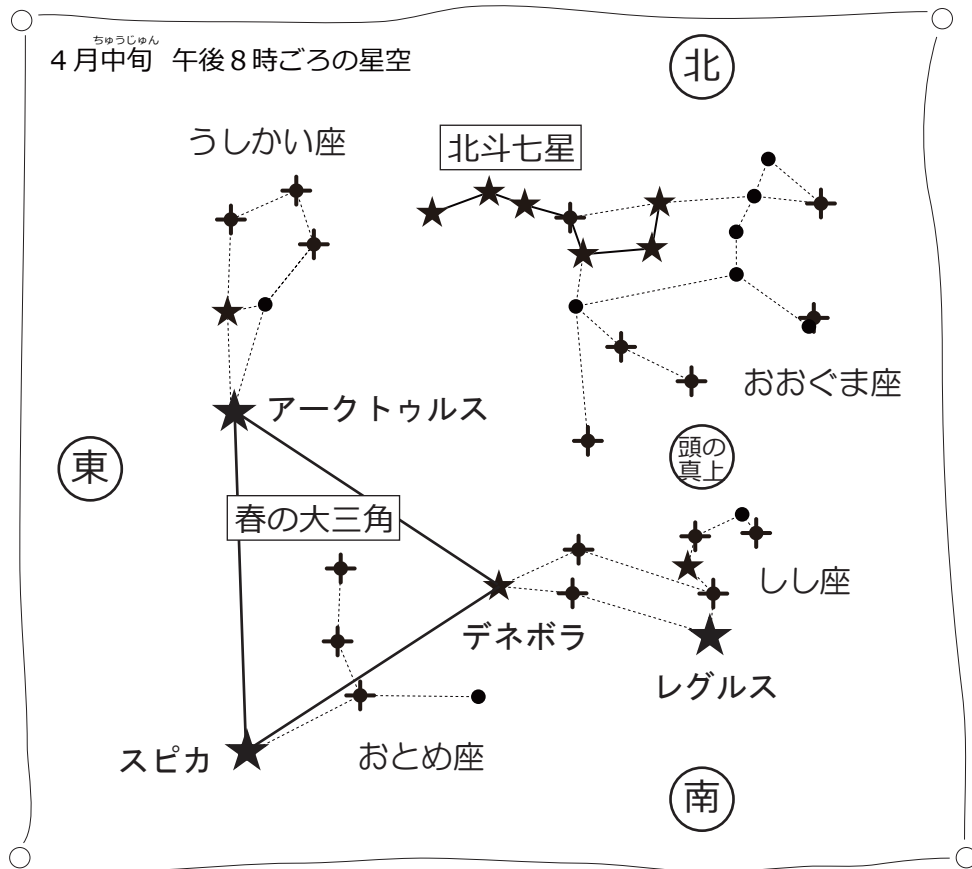
★ 星空観察会

毎週土曜日、事前申込み制で開催中。
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今日の さかしてみよう

春の大三角



春の大三角は、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカ、しし座のデネボラをつないでできる大きな三角形です。アークトゥルスとスピカは一等星ですが、デネボラは二等星なので、少し探しにくいかもしれません。欧米ではデネボラの代わりにレグルスをつないで、より大きな三角形を春の大三角としています。

今月のオススメ星座！



おおぐま座
ほっきょくせい さが めじるし ぼくとしち
北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形をした「北斗七星」がある星座です。北斗七星は、クマの背中からしっぽの部分になります。ひしゃくの持ち手の端から2番目の星は、ミザールとアルコルという、目がよい人は肉眼でも分かる二重星です。



うしかい座
かがや めじるし
明るく輝くオレンジ色の星アークトゥルスが目印の星座です。アークトゥルスとは「熊の番人」という意味です。日本では麦の刈り入れが始まる頃に空高くに見えることから「麦星」と呼ばれていました。

天文コラム

チャレンジ！水星を探そう

水星は、太陽系の中で一番内側を公転しています。見かけの動きが速いうえ、常に太陽の近くにあるため、なかなか見る機会がありません。しかし、今月上旬から中旬にかけて、地球から見て水星が太陽から最も東に離れるため、夕方の西の空で観察するチャンスです。今は、同じ西の空にとっても明るい金星も見えているのでよい目印になるでしょう。一説では、地動説を唱えたことで有名な天文学者コペルニクスも生涯目にすることがなかったといわれる水星。この機会にぜひ探してみてください。

